



修学旅行や校外学習などの行事を通して児童生徒は様々な力をつけていっています。今回は、図書室の活動や、小学部から高等部までの連携した取り組みなどを紹介します。

図書係より

この1年間、被災で水没した図書室の整備に、多くの方の支援・協力をいただきました。ほとんどの図書が水没してしまった中、さまざまな団体から多くの図書を寄贈していただきました。また、年度末（10名）、夏休み（5名）には県内の司書の方がボランティアに来てくださいました。中学部でお世話になっていた倉敷支援学校の司書の方からは図書室内の掲示物をいただきました。多くの方の協力をいただき、寄贈された図書の登録や書架の整理、図書室の準備が進み、9月から図書室を開館することができました。現在、1500冊程度の図書をそろえ、高等部職業コースの生徒がカウンター当番をして、図書室が利用できるようにしています。今後も児童生徒が本に親しみ、楽しく過ごせる図書室になるように整えていきたいと思ひます。



まぎび地域学校協働本部より（福祉班の活動）

実施しています。

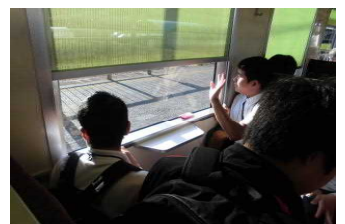
10月2日の1回目の様子を報告します。陽射しがまぶしいサロンのような部屋で手作りのスイーツと温かい飲み物で心がほぐれ、さらにお互いの肩をもみ合って体もほぐれていく中で、「ペアレントサポート・ステップ」の安藤さんと石川さんの軽妙なトークにワクワクし、「自分を励ましてくれることば」や「今、子育てで困っていること」をテーマに語り合いました。現在、福祉班では、参加された方の思いを受け止め、悩みの軽減・改善を目指し、2・3回目に向けて準備を進めているところです。

福祉班では、現在「子育て1up講座」（全3回）を



一人で移動できる力を育てる

学校卒業までに就労先や日中活動の場所に一人で行き帰りをすることができれば、進路の選択の幅が広がります。その力をつけていくことを目指して、小学部低学年では集団で歩くことに慣れるために、校外歩行に出かけています。また、学年が上がるにつれて鉄道などの公共交通機関を利用する校外学習を計画しています。そして修学旅行で新幹線や鉄道を使ったり、集団で移動したりすることができるようになっていきます。中学部では、校外学習や修学旅行で公共交通機関を利用する以外に、学期1回の通学体験（登校練習）を行っています。3年生の希望者には下校の練習もしています。その結果、高等部では、多くの生徒が電車や自転車を利用した自力通学をしたり、現場実習先にも一人で移動したりすることができるようになっています。



中学部より（本校地で2学期がスタートしました）

10月21日、修学旅行の報告会がありました。3年生が2泊3日の思い出や「修学旅行に行こうよ」の歌を発表したり（右の写真）、DVDを見たりしました。1、2年生は自分たちの修学旅行を今から楽しみにしていました。



月末の木曜日の午後、総合的な学習の時間に「まぎびボランティア」として、校内や地域の清掃活動に取り組んでいます。これまでに、1年生はランチルーム西側に新設された駐車場の石拾い、2年生は学校北側の側溝の掃除（左の写真）をしました。駐車場では一人では運べないような大きな石を掘り出したり、側溝掃除では溝いっぱいにつまった土を丁寧に取り除いたりしました。